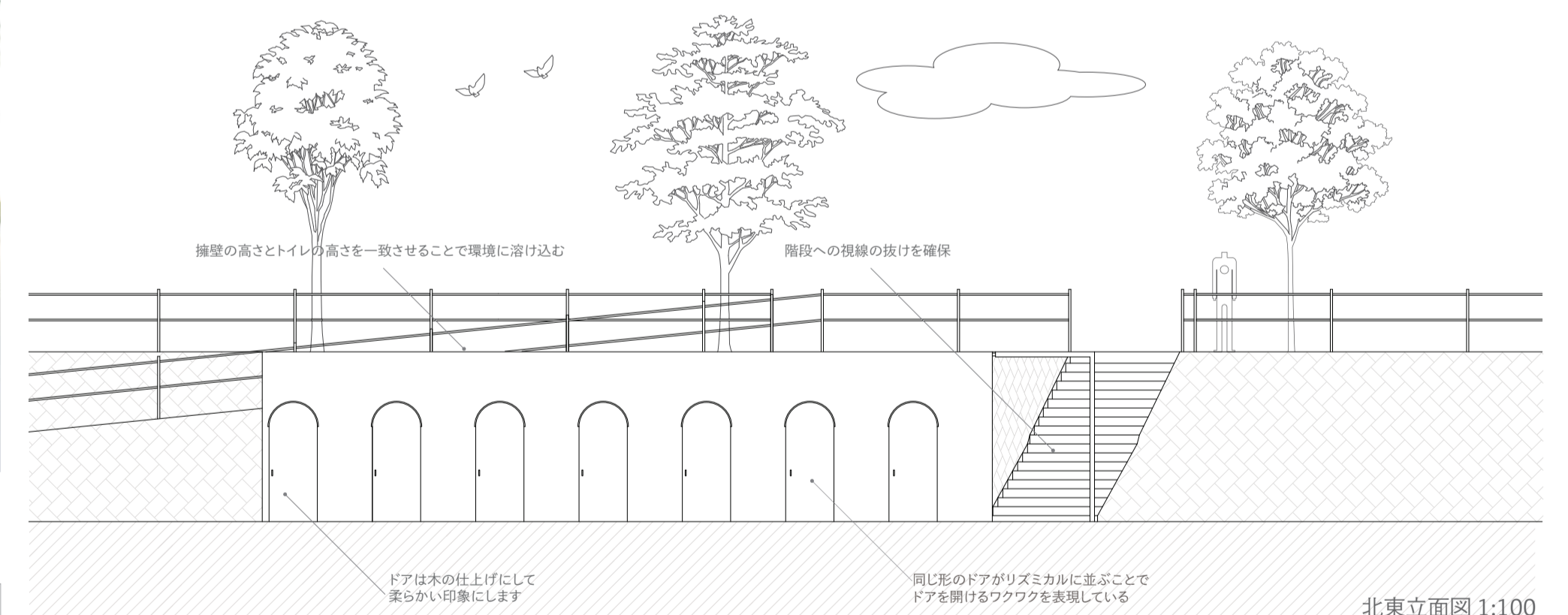
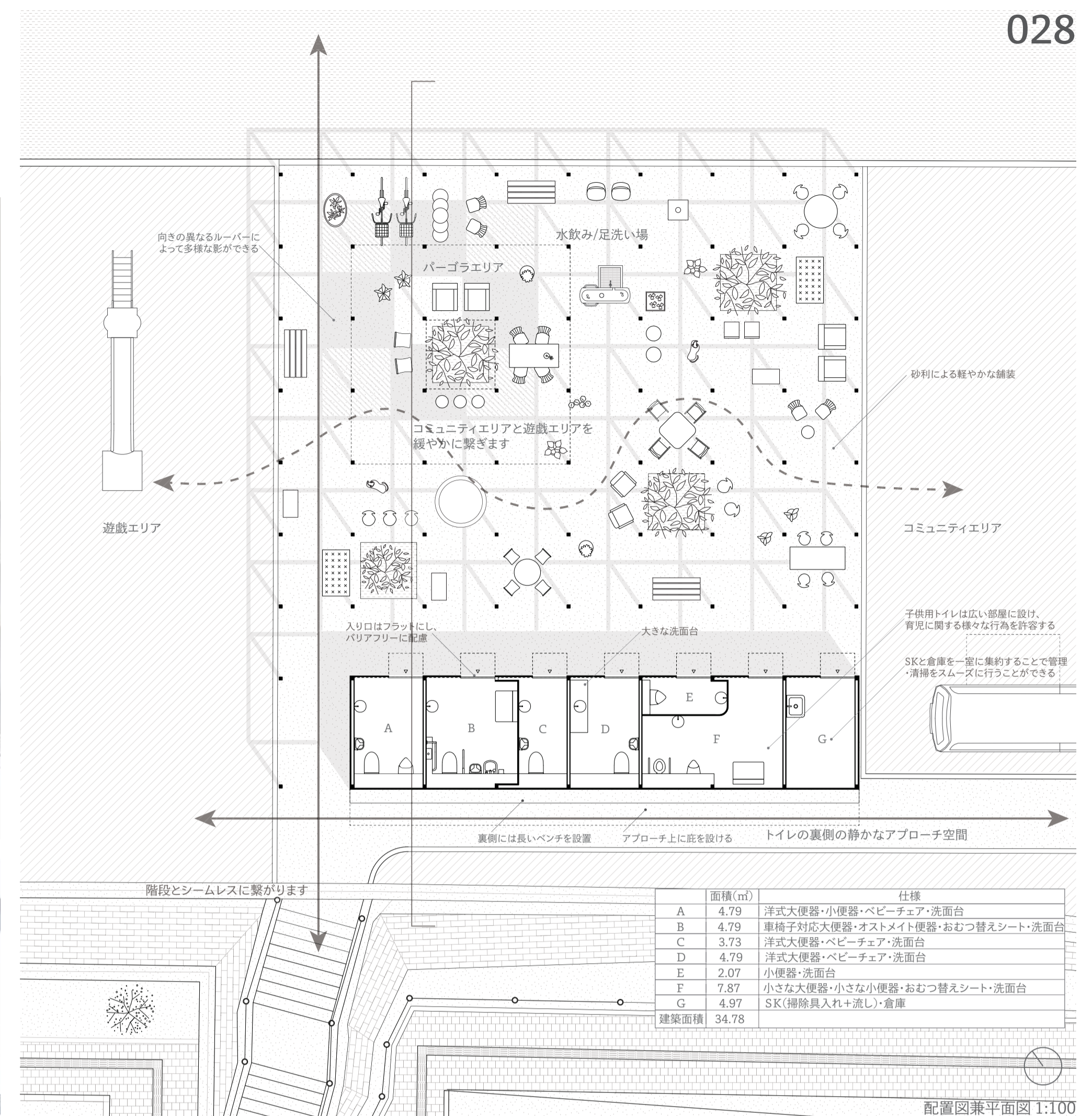
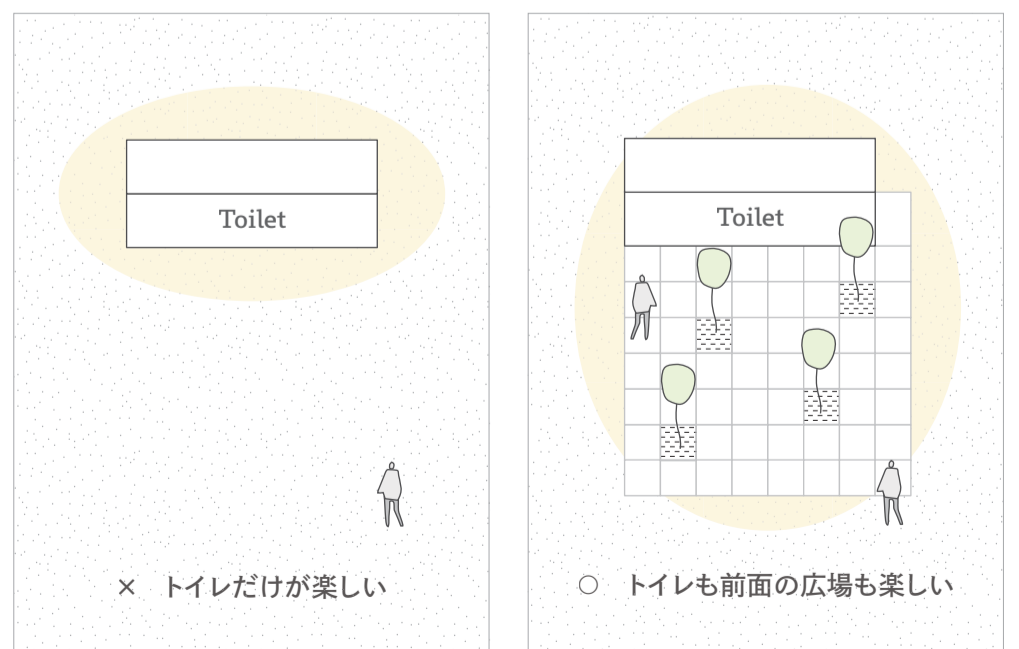


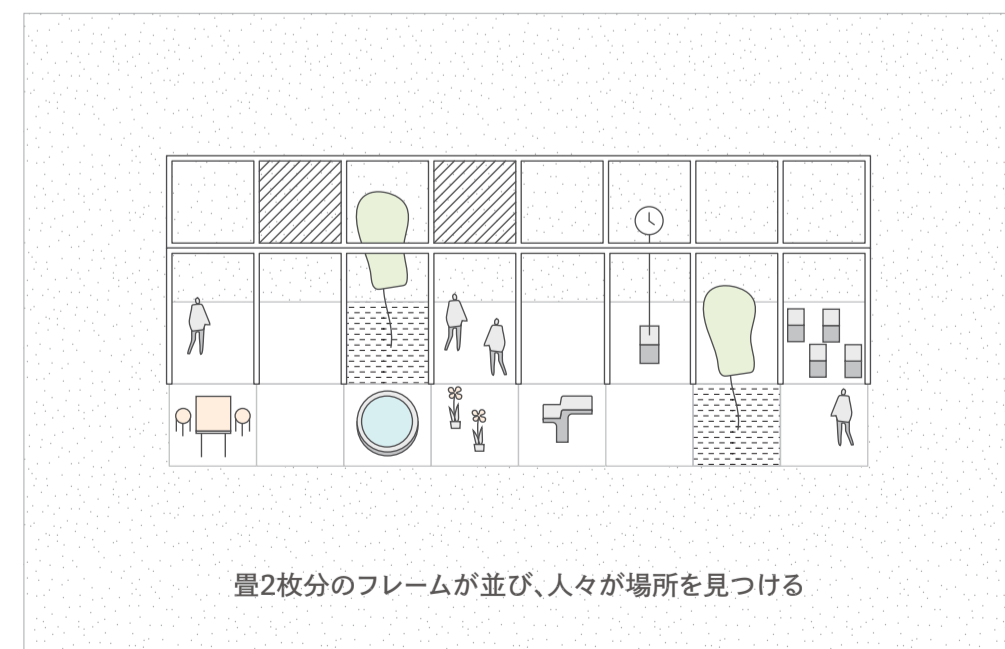
真っ白なフレームの下で自分の好きな場所を探し、アーチのドアから自分の好きなトイレを探す、広場とつながる今までにないトイレ。



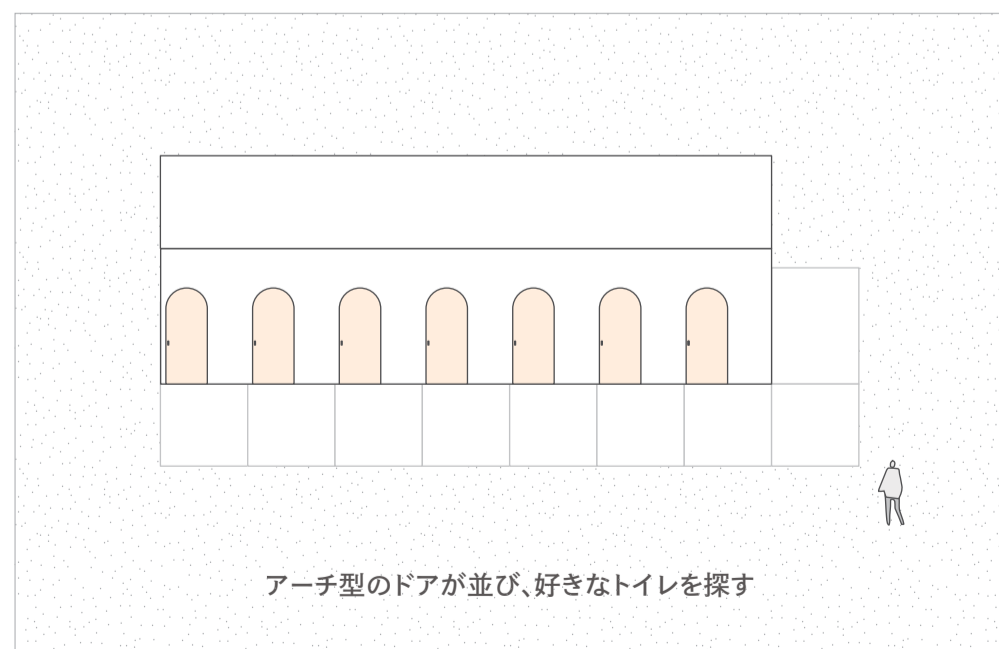
1. トイレと広場を一体化して敷地全体を使う



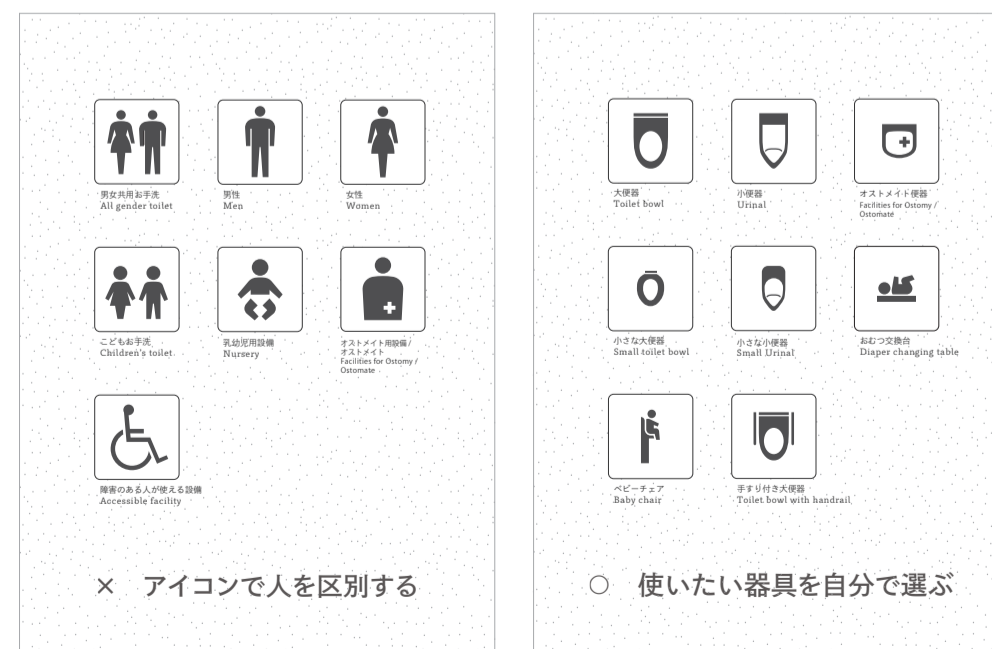
2. 畳と同じサイズのフレームから場所を探す



3. アーチ型のドアから自分のトイレを探す



4. これからの時代のピクトグラムを考える



象徴的なトイレを単体でつくるのではなく、目の前の広場と一体化したトイレを目指します。そのために敷地いっぱいフレームを置きます。その後、フレームの中にトイレやパーゴラ、庭や水飲み場などを丁寧に配置してゆきます。トイレだけが楽しく魅力的なのではなく、前面の広場も一体的に楽しくなるトイレの提案をします。

フレームを用いることで、大きすぎる広場は小さな領域へと緩やかに分割されます。フレームグリッドは1820×1820という量を2枚を並べた馴染み深い寸法にすることで、楽しさやワクワクする場所を探さずにはなりません。会話をしたり、休憩をしたり、のんびりしたり。この広場に訪れた人々が、各々の楽しみ方や居心地の良い場所を探してゆきます。

トイレの立面はアーチ型のドアが並びシンプルなデザインにし、コストを抑えます。立面の単純さとは裏腹に、それぞれのトイレの内部には異なる機能や空間が与えられます。トイレを使うとは、宝箱のフタを開けるように、自分自身がその時に使いたいトイレを選ぶことができます。自分好みのトイレを自分自身で探して選ぶという楽しさを提案します。

ドアの表面には「性別/年齢/多目的トイレ」などの通常のピクトグラムではなく、内部にある道具の種類を描いた新しいピクトグラムを用意します。子供や大人や障害のある方、男性や女性、そうした多様性をそのままに、自分の目的にあったトイレを自分自身で選ぶことを提案します。これからの時代の要請に答え、トイレ自体も新しい形式で答えます。

